



福祉、教育、くらしの応援に全力！
みなさんの願いを
しっかりと市政に届けます

日本共産党



市議会議員

富井 はるみ

教員 37年

プロフィール／1956年燕市中島(旧分水町中島)生まれ●福島大学教育学部卒●小学校教員として37年。十日町市や川西町、津南町の小学校に勤務●現在市議1期●十日町市新座甲743番地

希望ある十日町市へ



みなさんと
力をあわせて頑張ります

子育て・教育

- こども園・保育園・小中学校の給食費を無料に
- 子ども医療費を完全無料に
- 子どもの国保税均等割ゼロ
- 住民合意のない学校統廃合に反対、地域の学校を守る
- 国に学費無償化、奨学金返済半額免除を求めます



住み続けられる医療・福祉・生活支援

- 医師確保と地域医療の充実、十日町病院の分娩再開
- 在宅医療・介護の充実 ●高齢者の「生活の足」の確保
- 要援護世帯の除雪費支援の対象世帯拡大と支援額増額

農業・雇用と地域経済

- 価格保障と所得補償で農業経営を守る
- 医療・介護分野で雇用の創出をはかる
- 原発ゼロ、十日町を再生可能エネルギーの先進地に

税金の使い方を暮らし最優先へ

財源はあります

《2023年度末の基金残高》

●財政調整基金	25億円	普通会計と特別会計
●地域振興基金	14億円	合計
●環境共生基金	23億円など	90億円

衆院選で自公が過半数割れ

政治を変えるチャンス！

農業を守り、暮らしと地域経済を応援する政治に！私も一緒に頑張ります。

日本共産党参議院議員／参院国対委員長

井上 さとし

いのうえ 哲士



平和、教育...元教員として

守りたい子どもたちの未来

富井はるみ History

戦争の悲劇をくり返してはならない

私の人生の転機の一つが、被爆地・広島訪問でした。

教員2年目の夏、原水爆禁止世界大会に参加し、被爆の実相に衝撃を受けました。



「こんな悲劇はくり返してはならない」「核兵器も戦争もなくさなければ」と胸に刻みました。これが私の平和をもとめる原点です。

子どもの発達、豊かな学びの保障を

私は教員として、教育の現場で働いてきました。子どもたち一人ひとりの発達に応じた教育を保

障するためには、教員の増員と少人数学級がかかせないと痛感しています。



現場の経験を生かし、教育条件の整備に全力をあげます。

平和も暮らしも壊す大軍拡は許しません 軍事費でなく教育費こそ増額を

2000年代初頭に軍事と教育の予算が逆転し、いまや軍事費は教育費の2倍に。自公政権はさらに軍事費2倍を狙っています。しかも政府がすすめる軍拡は、日本を長距離ミサイルの最前線基地にすることです。日本が焦土と化す危険な道です。

国に対して、軍事費でなく教育費こそ増額せよと求めています。

安心して住み続けられる十日町市に

富井はるみ市議と日本共産党の3人の市議団は、市民のみなさんの声を第一に、粘り強く提案・申し入れ、市政をチェックし、要求実現に奮闘してきました。

「明石の湯」、突然の廃止案が出されるも…
市民の運動と議会論戦で存続に

22年12月、市が突然「明石の湯」を廃止すると発表しました。

市民からは「なぜ憩いの場をなくすのか」「突然、なんだ！」の声がまきおこりました。
市の廃止理由は「赤字」でした。



日本共産党は「十日町民報」で、①指定管理料（委託費）を、「赤字」とするのは大まちがい、②キナーレ収入の40％は温泉利用料、美術館入館料はわずか17％。「赤字」というなら「美術館こそ赤字」と指摘。これには市長与党の保守系市議が

粘り強い運動で

地域医療を守り、充実へ

「住み続けられる」地域であるために、医療はかせません。日本共産党は一貫してこの問題を取りあげてきました。

2004年、中越地震の被災を視察した泉田知事（当時）は、「十日町病院は公設民営」「松代病院は十日町病院に統合」という方針をしました。

日本共産党市議団は、「十日町病院は県立直営で」「松代病院の存続」「十日町看護専門学校

らも「廃止でいいのか」との思いが広がりました。

日本共産党市議団は、「3月議会で議決せず十分な審議を」と主張。

本会議では、一票差で「継続審査」となり、4月臨時会で「明石の湯」の存続が決まりました。

の設立を」と、新潟県にくり返し要請。看護学校設立は、十日町市長・議長、津南町長・議長の4者連名の知事要請となり、米山隆一知事（当時）のもとで、予算が計上されました。

県立松代病院は、24年6月の病院局「経営強化プラン」で、「県立病院でなければならぬ」と述べ、県立病院としての存続が謳われました。引き続き、十日町病院の分娩再開など、地域医療を守るために全力をつくします。



住民合意のない学校統廃合計画は撤回に

地域からも反対の声が出されていた、中里・松代・川西の中学校を廃校にする統廃合計画を事実上撤回に追い込みました。

基幹病院への直通バスが実現

「通院が大変」との声から、基幹病院への直通バスを求め、2024年6月から本格運行が開始されました。

田んぼ水不足問題で要請

深刻な田んぼの水不足問題で市に緊急支援を要請しました。



ひび割れた田んぼ

地域の「お困りごと」を改善

通学路のフタのない側溝。雨や雪がふると溢れ、靴が濡れて大変でした。また、車が通ると避けられず危険でした。市に要請し改善。しっかりとしたフタもついて安心です。

その他、消雪パイプの井戸の改修、生活相談など身近なくらしの問題に取り組んできました。



十日町市議会議員
富井はるみ



市民が安心して利用できるよう「明石の湯」の徹底した衛生管理について要望